

社会福祉法人光温会温水ケアセンター

令和4年度事業報告

総括

令和4年度の温水ケアセンター全体の事業活動の収入は、約630万円の黒字を確保することが出来ました。

施設内での新型コロナウイルスの感染拡大のため、デイサービスの営業を休止にすることもありましたが、延べ利用者数に大きな減少は見られず、一定の収入を確保できたことが主な要因となっています。

通所介護

通所介護の令和4年度の介護保険事業実績については、収入が約1億1430万円。支出が約1億200万円で、差し引き1、230万円の黒字となっています。

理由といたしましては、令和4年8月に新型コロナウイルスの影響で1週間ほど業務停止にしましたが、令和4年度全体の利用者数に大幅な落ち込みが見られず、一定の収入を確保できたこと。また、施設内の大規模な修繕等がなかったため、大きな出費がなかったことなどが主な要因となっています。

(総合事業) 予防通所介護

(総合事業) 予防通所介護の令和4年度の介護保険事業実績については、収入が約270万円。支出が約860万円で、差し引き590万円の赤字となっています。

理由といたしましては、新型コロナウイルスの影響で、利用者が前年度と比べて約2割減少したことと、他の事業との事務費や光熱費などとの按分の結果、通所介護と一体的に行っている(総合事業) 予防通所介護の活動費用が膨らんだことが、主な要因となっています。

訪問介護

訪問介護の令和4年度の介護保険事業実績については、収入が約720万円。支出が約840万円で、差し引き120万円の赤字となっています。理由といたしましては、前年度と比べて、利用者数、収入とも増えていますが、他の事業との事務費や光熱費などとの按分の結果、訪問介護の活動費用が膨らんだことが、主な要因となっています。

(総合事業) 予防訪問介護

(総合事業) 予防訪問介護の令和4年度の介護保険事業実績については、収入が約360万円。支出が約230万円で、差し引き130万円の黒字となっています。

理由といたしましては、前年度と比較して、利用者数、収入とも減少していますが、他の事業との事務費や光熱費などとの按分の結果、訪問介護の比率が上がり、(総合事業) 予防訪問介護の活動費用が抑えられたことが、主な要因となっています。

障がい者福祉サービス事業

障がい者福祉サービス事業の令和4年度の介護保険事業実績については、収入が約60万円。支出が約100万円で、差し引き43万円の赤字となっています。

理由といたしましては、障がい者福祉サービス事業のご利用者は、厚木市障がい福祉課や障がい者総合相談室、地域相談室が中心になって行っているため、そちらからのセンターに対する相談等で利用を開始することが多く、また訪問介護の利用も月によって変動があるため、結果としてこのような事業実績になったと思われれます。

居宅介護支援

居宅介護支援の令和3年度の介護保険事業実績につきましては、収入が約816万円。支出が約780万円で、差し引き36万円の黒字となって

います。

前年度と比較して、利用者数、収入とも減少していますが、理由といたしましては、前年9月に常勤1名が退職し、常勤1名の体制となり、利用者数、収入とも減少したことと、事務量が増えたことなどが、主な要因として考えられます。

独自配食業務

独自配食業務の令和4年度の事業実績については、収入が約31万円。支出が約75万円で、差し引き44万円の赤字となっています。

理由といたしましては、前年度と比較して、デイサービスを利用している方の利用が増え、利用者、収入ともに増えているが、事業の按分の見直しにより、人件費や業務委託費などが増えているためと思われる。